

# **令和7年**

# **火災・救急・救助の概要**

**高砂市消防本部**

## 目 次

### 【火災】

1 火災の概要 .....	1
(1) 出火原因 .....	1
(2) 死者及び負傷者 .....	1
(3) 建物焼損棟数及び災害帯数 .....	1
(4) 損害額 .....	1
2 火災発生状況(前年との比較) .....	2
3 年別火災件数、損害額及び火災種別 .....	3
(1) 年別火災件数及び損害額 .....	3
(2) 年別火災種別件数 .....	3
4 月別火災発生状況 .....	4
5 時間別火災発生状況 .....	5
6 曜日別火災発生状況 .....	5
7 地区別火災発生状況 .....	6
8 火災覚知別状況 .....	6
9 出火原因及び損害額 .....	7
10 初期消火状況 .....	7
(1) 初期消火実施状況 .....	7
(2) 初期消火器具使用状況 .....	8

### 【救急】

1 救急の概要 .....	9
(1) 事故種別 .....	10
(2) 傷病程度別搬送人員 .....	10
2 救急出動状況(前年との比較) .....	11
3 月別出動件数 .....	12
4 時間別出動件数 .....	13
5 曜日別出動件数 .....	13
6 地区別出動件数 .....	14
7 急病にかかる疾病分類別搬送人員状況 .....	14
8 現場到着所要時間別出動件数 .....	15
9 病院収容所要時間別搬送人員状況 .....	15

10 年齢区分別傷病程度別搬送人員状況 .....	16
11 発生場所別搬送人員状況 .....	16
12 応急処置実施件数 .....	17

## 【救助】

1 救助の概要 .....	18
2 救助出動状況(前年との比較) .....	19
3 月別出動件数 .....	20
4 地区別出動件数 .....	20
5 救助種別及び傷病程度別出動件数 .....	21
6 救助種別及び発生場所別出動件数 .....	21

## 【火災】

### 1 火災の概要

令和7年中に高砂市内で発生した火災は30件(前年比3件増)で、1日当たりに換算すると、約12日に1件の割合で火災が発生したことになります。また、出火率(人口1万人あたりの火災件数)は3.5件となり、前年から0.4件の増加となりました。

火災種別でみると、建物火災が14件(前年比3件減)で、全体の46.7%を占め、その他の火災が12件(前年比2件増)となっています。

建物火災では、住宅関係の火災が5件(前年比3件減)で、建物火災全体の35.7%(前年比11.4%減)を占めています。

#### (1) 出火原因

火災件数30件の出火原因是、放火(疑い含む)が6件、たばこが2件、こんろが2件、ストーブが1件、電気機器が1件、マッチ・ライターが1件、火入れが4件、その他が10件、不明・調査中が3件となっています。

#### (2) 死者及び負傷者

火災による死者は0人(前年比1人減)、負傷者は6人(前年比4人増)となっています。

#### (3) 建物焼損棟数及びり災世帯数

建物焼損棟数は15棟で、内訳は全焼1棟、部分焼4棟、ぼや10棟となっています。

り災世帯は5世帯で、り災人員は12人となっています。

#### (4) 損害額

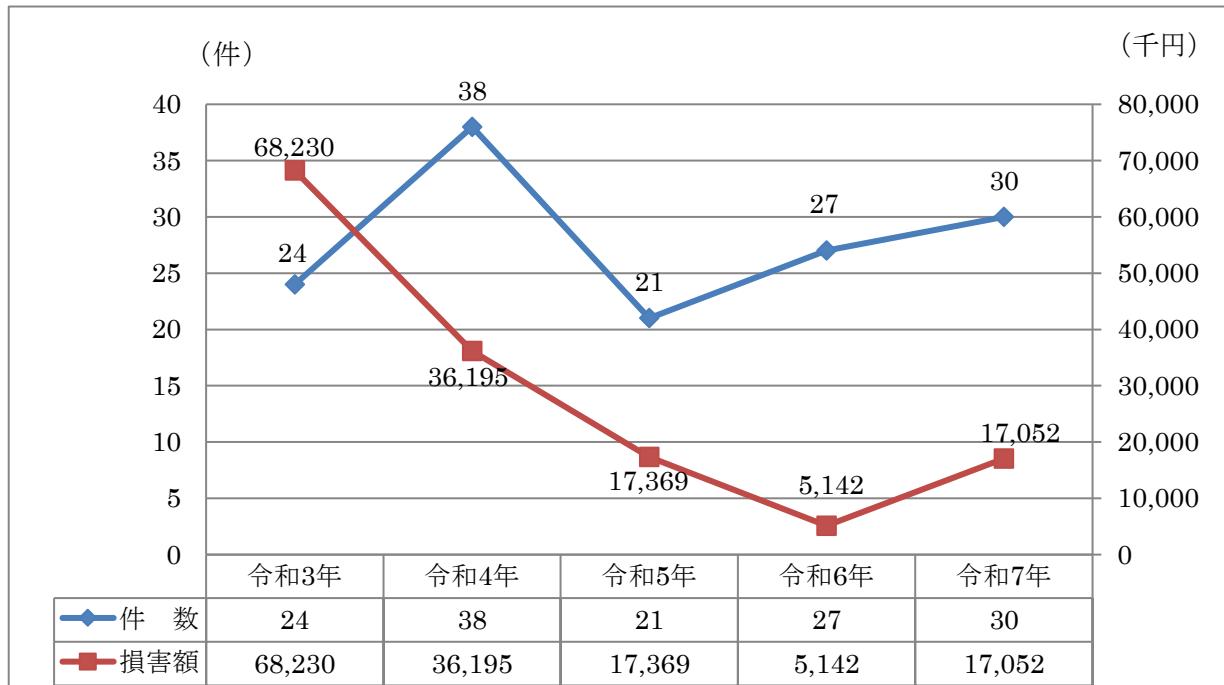
建物火災の損害額は11,729千円(前年比6,686千円増)で、建物火災1件あたりの損害額は838千円となっています。

## 2 火災発生状況(前年との比較)

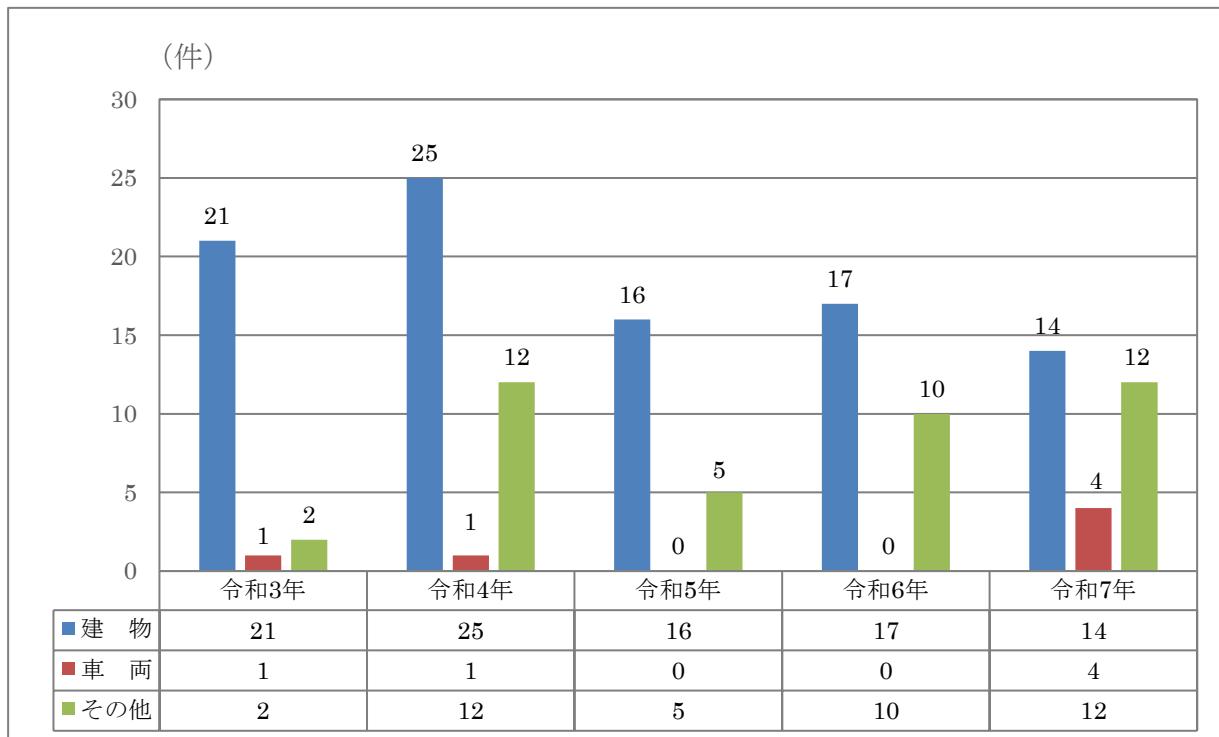
区分		年別	令和6年	令和7年	増減 (△は減少)
火 災 件 数	建物火災		17	14	△3
	林野火災				
	車両火災			4	4
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他の火災		10	12	2
	合計		27	30	3
損害額 (千円)	建物		5,043	11,729	6,686
	林野				
	車両			846	846
	船舶				
	航空機				
	その他		99	4,477	4,378
	合計		5,142	17,052	11,910
焼 損 面 積	床面積(m <sup>2</sup> )		273	46	△227
	表面積(m <sup>2</sup> )		40	11	△29
	林野(a)				
焼損車両台数				4	4
焼 損 棟 数	全焼		3	1	△2
	半焼		1		△1
	部分焼		4	4	0
	ぼや		13	10	△3
	合計		21	15	△6
り災世帯数			11	5	△6
り災人員			26	12	△14
死者			1		△1
負傷者			2	6	4

### 3 年別火災件数、損害額及び火災種別

#### (1) 年別火災件数及び損害額



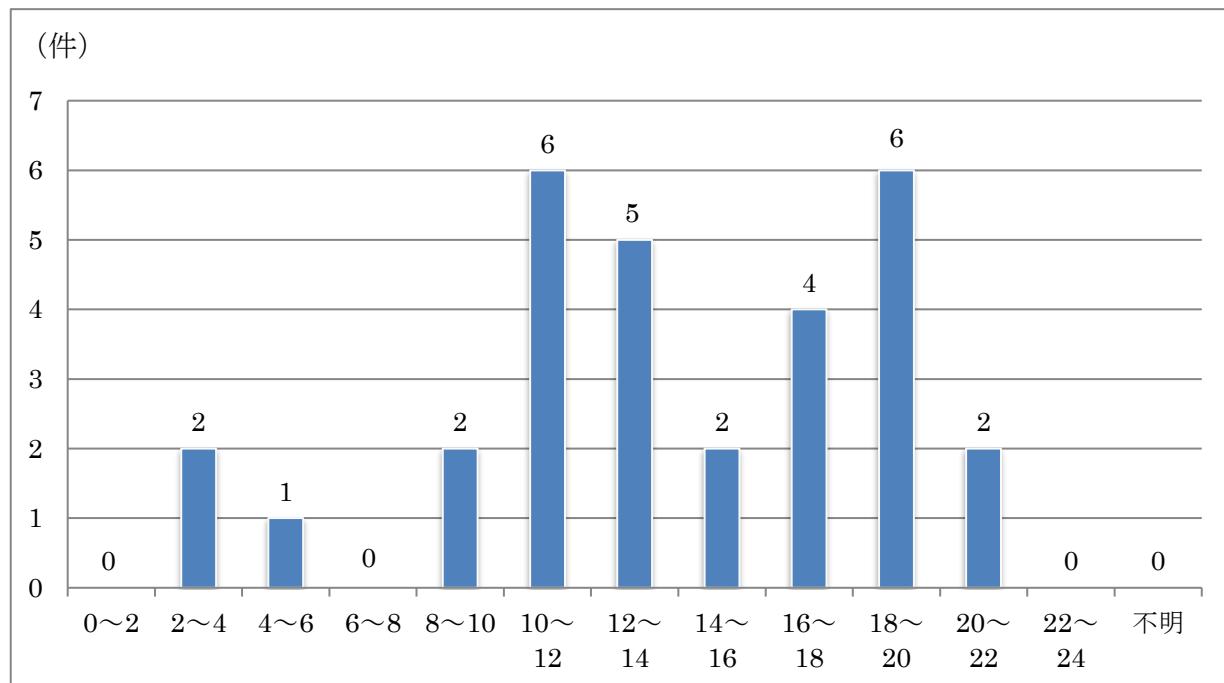
#### (2) 年別火災種別件数



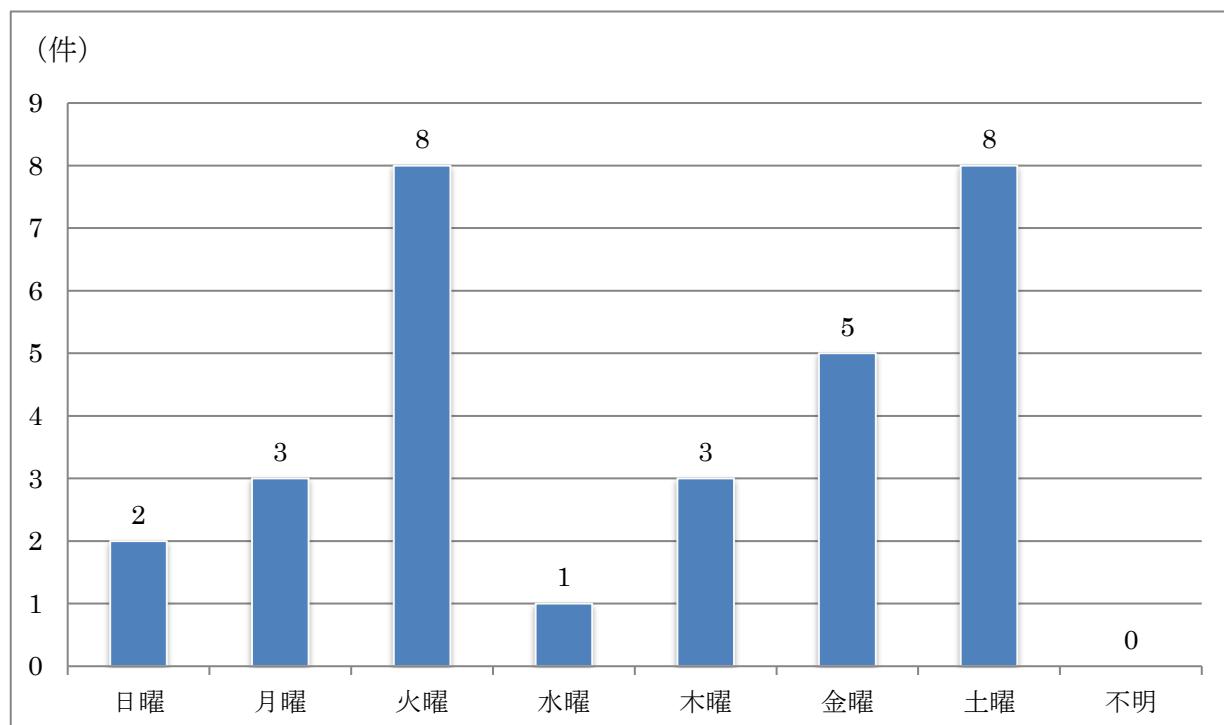
#### 4月別火災発生状況

区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災 件 数	建物	2	1		1	1		1	4	2	1		1 14
	林野												
	車両	1		1				1			1		4
	船舶												
	航空機												
	その他	2	2	1					2	3		2	12
	合計	5	3	2	1	1		2	6	5	1	3	1 30
損 害 額 ( 千 円 )	建物	9			7				11,632	81			11,729
	林野												
	車両	196		170				30			450		846
	船舶												
	航空機												
	その他	3		4				1	2		4,467		4,477
	合計	208		174	7			31	11,634	81		4,917	17,052
焼 損 面 積	床面積 ( m <sup>2</sup> )			8					35	2			1 46
	表面積 ( m <sup>2</sup> )		4							7			11
	林野 ( a )												
焼損車両台数		1		1				1				1	4
焼 損 棟 数	全焼			1									1
	半焼												
	部分焼		1						1	2			4
	ぼや	2	1		1	1		1	3				1 10
	合計	2	2	1	1	1		1	4	2			1 15
り災世帯数					1				2	1			1 5
り災人員					1				8	2			1 12
死者													
負傷者				1	1				3		1		6

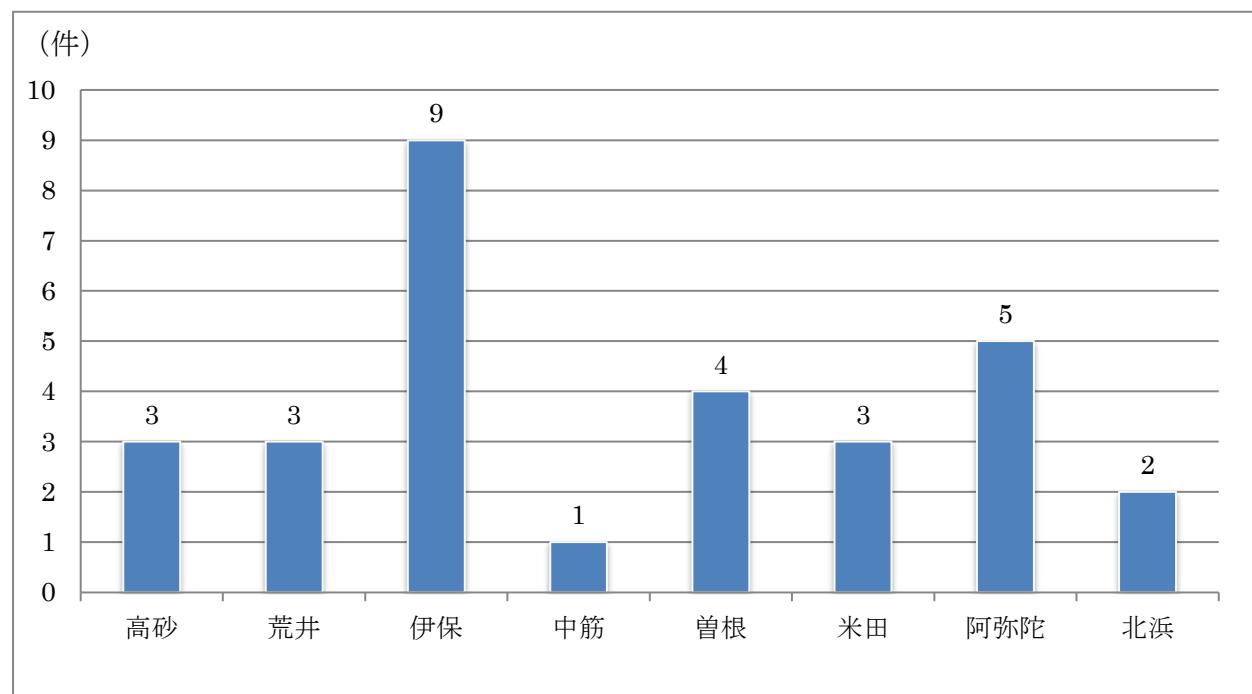
## 5 時間別火災発生状況



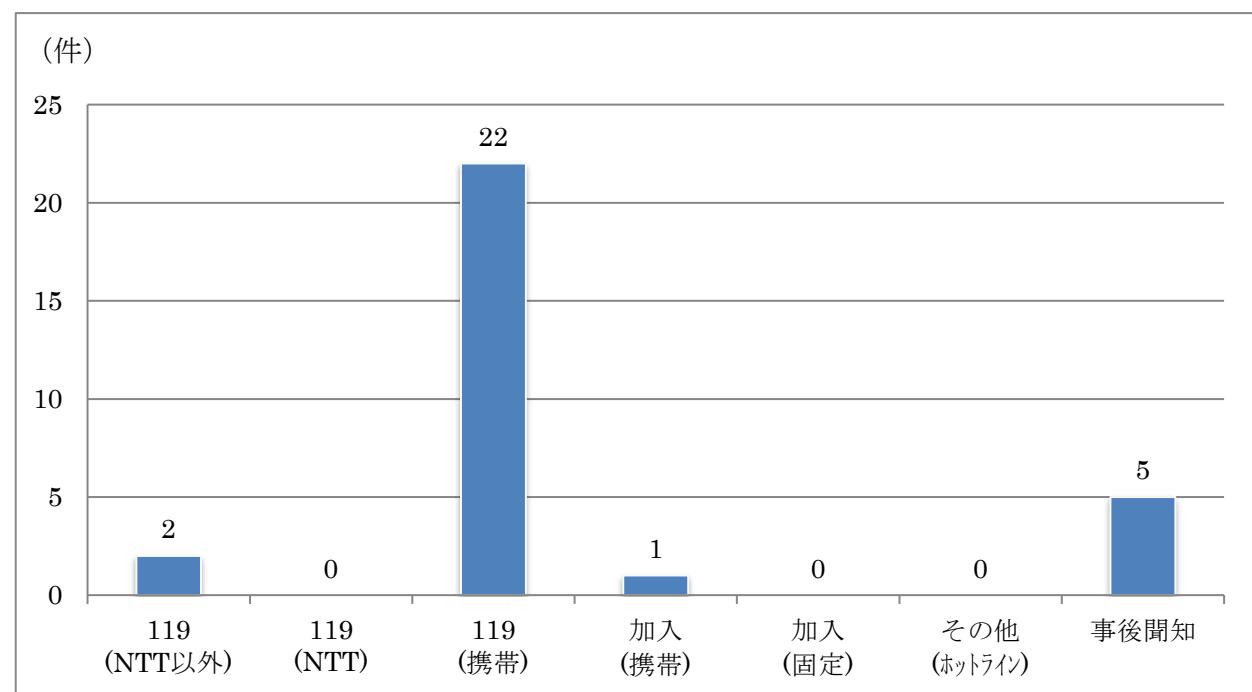
## 6 曜日別火災発生状況



## 7 地区別火災発生状況



## 8 火災覚知別状況



## 9 出火原因及び損害額

月別 原因別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	損害額 (千円)
火 灾 件 数	5	3	2	1	1		2	6	5	1	3	1	30	17,052
放火(疑い含む)	2	2							2				6	
た ば こ								1			1		2	2
こ ん ろ				1				1					2	7
ス ト ー ブ	1												1	4
電 気 機 器・装 置								1					1	11,631
マッチ・ライター									1				1	
火 入 れ			1				1	1	1				4	61
そ の 他	1	1	1		1			2	1	1	2		10	5,148
不 明・調査中	1						1					1	3	199

## 10 初期消火状況

### (1) 初期消火実施状況

種 別 実施状況	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
火 灾 件 数	14		4			12	30
初期消火実施状況 (初期消火のみで鎮火)	12 (8)		3 (2)			6 (3)	21 (13)
初 期 消 火 な し	2		1			6	9

(2) 初期消火器具使用状況

種別 初期消火種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
初期消火実施件数	12		3			6	21
水バケツ	1					2	3
強化液消火器	1						1
粉末消火器	3					1	4
屋内消火栓設備			1				1
水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた	4		2			2	8
寝具、衣類等をかけた	1						1
もみ消した	1						1
その他の	1					1	2

## 【救急】

### 1 救急の概要

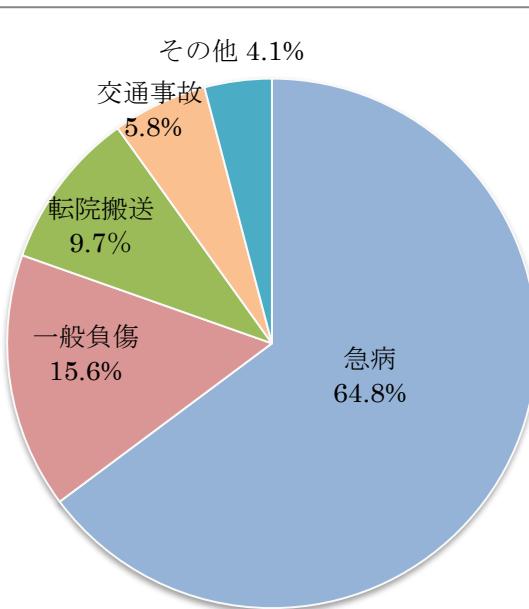
令和7年の救急出動件数は4,845件（前年比18件増）、搬送人員は4,402人（前年比202人増）となっています。これは、1日平均13.3件出動し、市民19人に1人を救急車で医療機関へ搬送したことになります。

区分		出動件数	搬送人員
事 故 種 別	火 災	14	4
	自然 災 害		
	水 難 事 故	9	4
	交 通 事 故	280	257
	労 働 災 害	52	50
	運 動 競 技	39	36
	一 般 負 傷	758	701
	加 害	7	7
	自 損 行 為	28	19
	急 病	3,141	2,854
	そ の 他	472	470
	転 院 搬 送		
	医 師 搬 送		
	資 器 材 等 輸 送		
	そ の 他	45	
合 計		4,845	4,402

区分		搬送人員
傷 病 程 度	死 亡	76
	重 症	290
	中 等 症	2,316
	輕 症	1,720
	そ の 他	
合 計		4,402

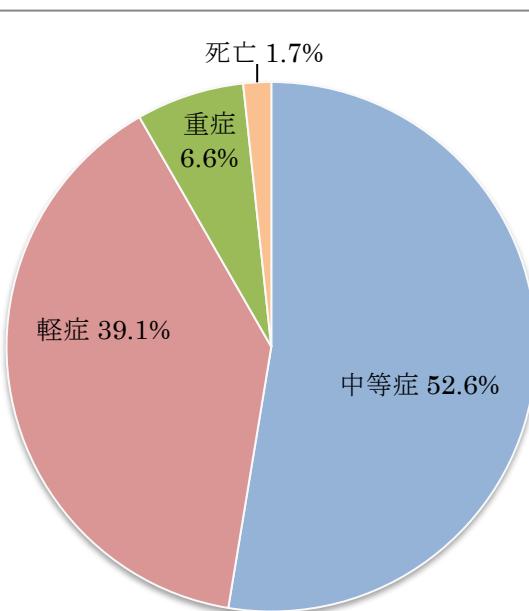
## (1) 事故種別

事故種別では、急病が 3,141 件（前年比 15 件減）で全体の 64.8%を占め、次いで一般負傷が 758 件（前年比 64 件増）、転院搬送が 472 件（前年比 2 件減）となっています。



## (2) 傷病程度別搬送人員

傷病程度別搬送人員は、中等症が 2,316 人（前年比 130 人増）で全体の 52.6%を占め、次いで軽症が 1,720 人（前年比 2 人増）、重症が 290 人（前年比 46 人増）、死亡が 76 人（前年比 24 人増）となっています。



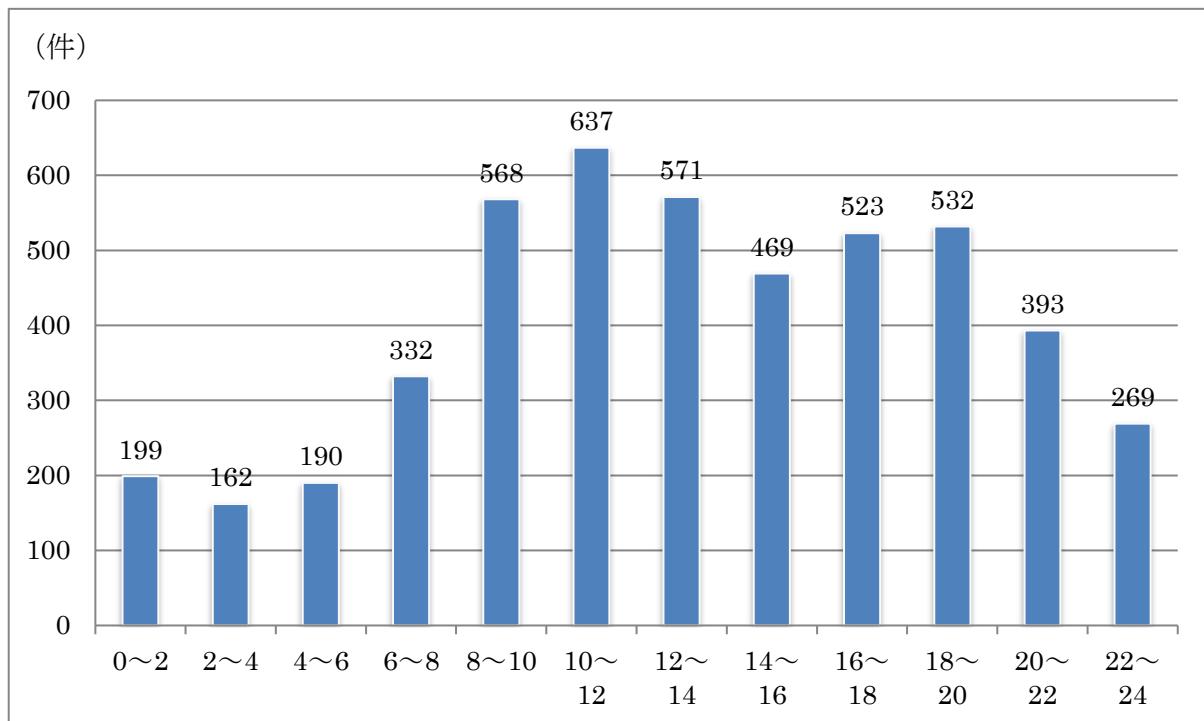
## 2 救急出動状況(前年との比較)

区分		年別	令和6年	令和7年	増減 (△は減少)
出 動 件 数			4,827	4,845	18
事 故 種 別	火 災	11	14	3	
	自 然 災 害				
	水 難 事 故	6	9	3	
	交 通 事 故	305	280	△25	
	労 働 災 害	42	52	10	
	運 動 競 技	41	39	△2	
	一 般 負 傷	694	758	64	
	加 害	17	7	△10	
	自 損 行 為	41	28	△13	
	急 病	3,156	3,141	△15	
そ の 他	転 院 搬 送	474	472	△2	
	医 師 搬 送				
	資 器 材 等 輸 送				
	そ の 他	40	45	5	
搬 送	不 搬 送	646	463	△183	
	搬 送 人 員	4,200	4,402	202	
傷 病 程 度	死 亡	52	76	24	
	重 症	244	290	46	
	中 等 症	2,186	2,316	130	
	軽 症	1,718	1,720	2	
	そ の 他				

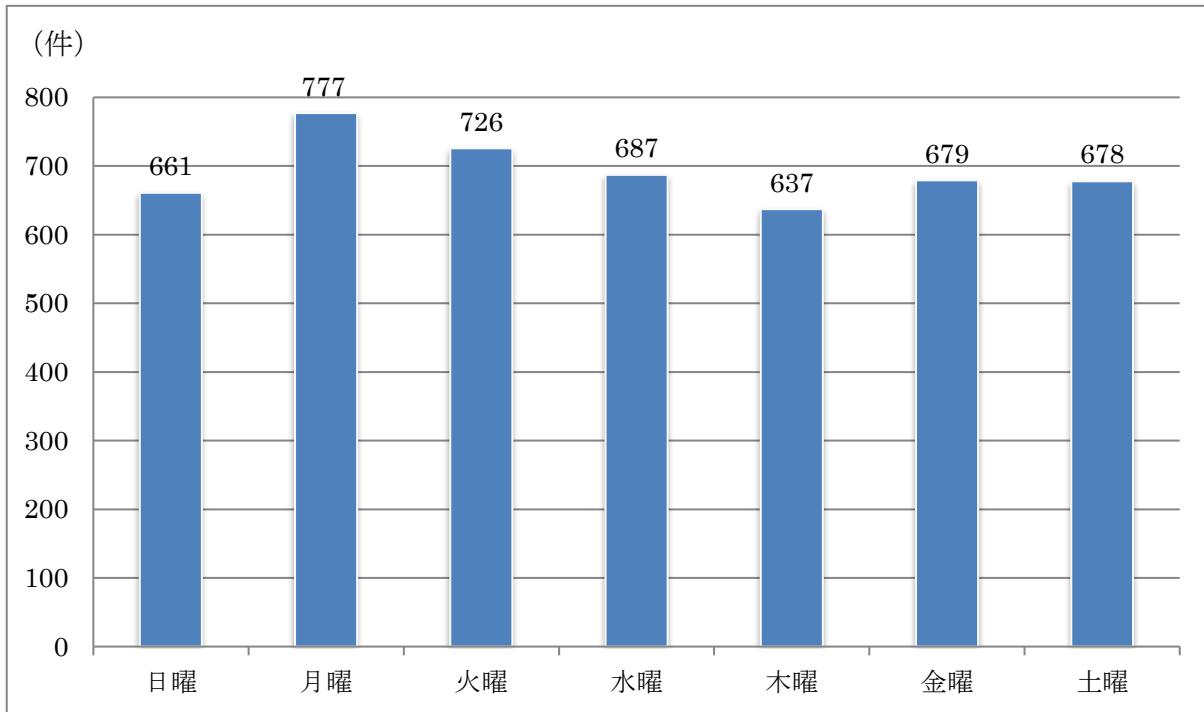
### 3 月別出動件数

月 別 区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出 動 件 数		499	420	403	344	385	392	400	450	396	344	402	410	4,845
事 故 種 別	火 災	1		2	1			1	5	2		1	1	14
	自然 災害													
	水 難 事 故	1	3	1			2	1				1		9
	交 通 事 故	20	20	24	14	29	26	27	24	23	16	28	29	280
	労 働 災 害	1	3	2	4	6	6	8	11	3	4	2	2	52
	運 動 競 技	1		2	1	6	8	4	9	2	1	2	3	39
	一 般 負 傷	61	58	65	65	66	56	61	58	57	76	65	70	758
	加 害				1	1		1	3		1			7
	自 損 行 為			3	2	4		2	2	1	5	6	3	28
	急 病	368	287	261	212	236	261	254	284	262	202	260	254	3,141
搬 送	転院搬送	44	44	39	36	35	29	38	50	44	36	33	44	472
	医 師 搬 送													
	資 器 材 等 輸 送													
	そ の 他	2	5	4	8	2	4	3	4	2	3	4	4	45
傷 病 程 度	不 搬 送	59	48	46	31	24	30	43	39	30	32	47	34	463
	搬 送 人 員	440	379	358	313	362	364	359	411	369	316	355	376	4,402
	死 亡	11	5	6	8	5	5	8	2	4	5	8	9	76
	重 症	28	24	27	17	24	22	33	27	25	15	21	27	290
	中 等 症	218	208	178	156	180	199	173	220	186	180	199	219	2,316
そ の 他	輕 症	183	142	147	132	153	138	145	162	154	116	127	121	1,720
	そ の 他													

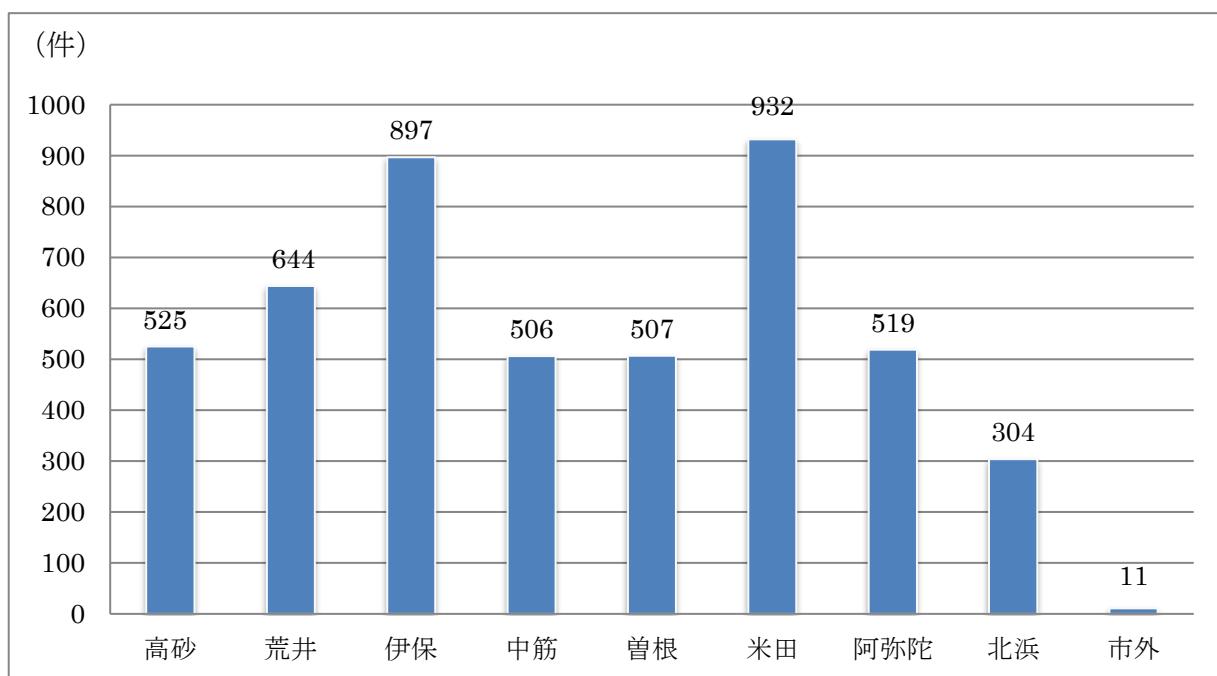
#### 4 時間別出動件数



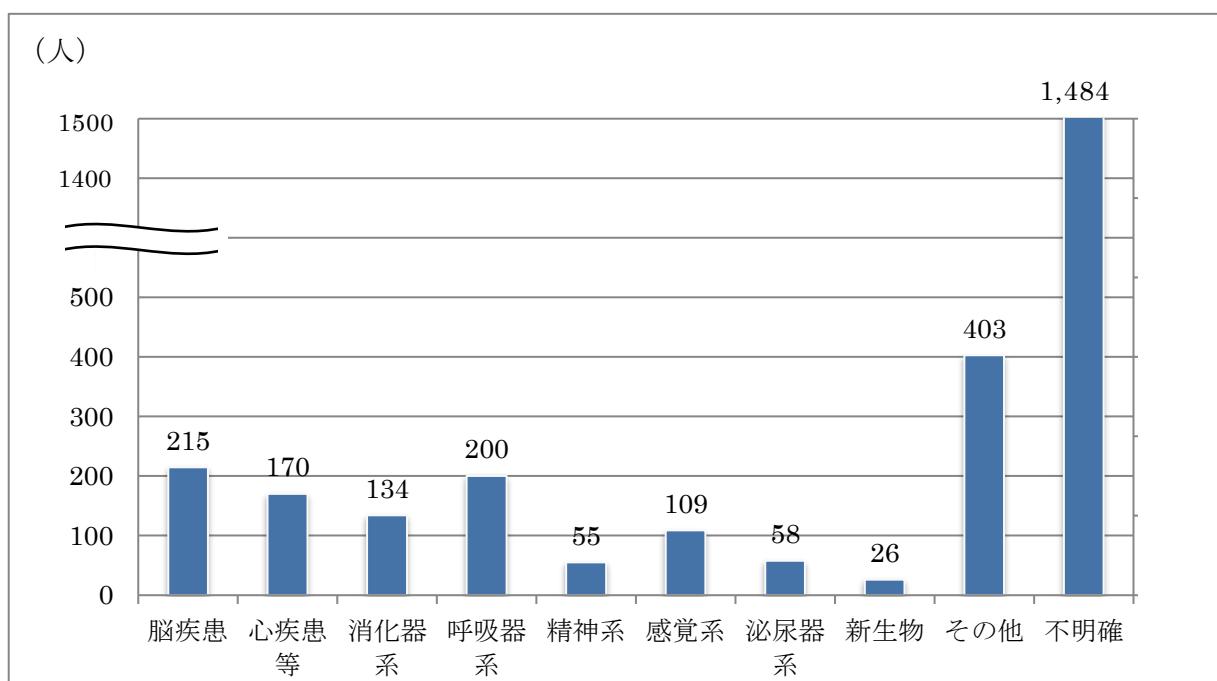
#### 5 曜日別出動件数



## 6 地区別出動件数



## 7 急病にかかる疾病分類別搬送人員状況



## 8 現場到着所要時間別出動件数

通報から現場到着までに要する時間は、平均 7 分 25 秒となっています。5 分以上 10 分未満が 3,746 件と最も多い、全体の 77.3% を占めています。

時 間 区 分	3 分未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上	合 計	現場到着 平均所要時間
急 病	8	271	2,502	360		3,141	7 分 28 秒
交通事故	4	29	201	38	8	280	7 分 56 秒
一般負傷	5	71	588	93	1	758	7 分 29 秒
上記以外	15	128	455	64	4	666	6 分 50 秒
合 計	32	499	3,746	555	13	4,845	7 分 25 秒

## 9 病院収容所要時間別搬送人員状況

通報から病院収容までに要する時間は、平均 36 分 19 秒となっています。30 分以上 60 分未満が 2,822 人と最も多く、全体の 64.1% を占めています。

時 間 区 分	20 分未満	20 分以上 30 分未満	30 分以上 60 分未満	60 分以上 120 分未満	120 分以上	合 計	病院収容 平均所要 時間
急 病	50	758	1,923	122	1	2,854	36 分 21 秒
交通事故	13	74	153	17		257	37 分 13 秒
一般負傷	12	157	485	44	3	701	38 分 48 秒
上記以外	40	259	261	29	1	590	32 分 51 秒
合 計	115	1,248	2,822	212	5	4,402	36 分 19 秒

## 10 年齢区分別傷病程度別搬送人員状況

年齢区分別の搬送人員は、高齢者が 2,871 人と最も多く全体の 65.2%を占めています。

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
死 亡		1		12	63	76
重 症			4	56	230	290
中等症	1	76	38	460	1,741	2,316
軽 症	4	158	126	595	837	1,720
合 計	5	235	168	1,123	2,871	4,402

新生児 生後 28 日未満の者

乳幼児 生後 28 日以上 7 歳未満の者

少 年 7 歳以上 18 歳未満の者

成 人 18 歳以上 65 歳未満の者

高齢者 65 歳以上の者

傷病程度は、初診における医師の診断に基づき次のように分類している。

死 亡 初診時において死亡が確認されたものをいう。

重 症 傷病程度が 3 週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。

中等症 傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。

軽 症 傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。

## 11 発生場所別搬送人員状況

発生場所別の搬送人員は、住宅が 2,755 人と最も多く全体の 62.6%を占めています。

発生場所 区 分	住 宅	公 衆	仕事場	道 路	その他	合 計
急 病	2,287	420	61	74	12	2,854
交通事故	2	9		244	2	257
一般負傷	444	135	6	99	17	701
上記以外	22	507	44	3	14	590
合 計	2,755	1,071	111	420	45	4,402

## 12 応急処置実施件数

区分	事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	左記以外	合 計
止 血		11	10	34	7	62
固 定		3	62	36	21	122
人 工 呼 吸		1		2	1	4
心 肺 蘇 生		103		8	8	119
酸 素 吸 入		543	17	39	107	706
気 道 確 保		118		13	10	141
うち経鼻エアウェイ ※1		3				3
うち喉頭鏡、鉗子等 ※2		2		5		7
うちラリンゲアルマスク等 ※3		48		1	2	51
うち気管挿管 ※4				4		4
保 温		25	4	13	6	48
被 覆		3	32	101	20	156
在 宅 療 法 繼 続		27		2		29
除 細 動		9				9
静脈路確保（輸液）※5		34		7	3	44
薬 剤 投 与		17		5	1	23
血 糖 測 定		20			1	21
エ ピ ペ ン 投 与						
ブ ド ウ 糖 投 与		2				2
血 壓 測 定		2,602	251	647	578	4,078
聴診器による心音等の聴取		1,274	72	163	164	1,673
血中酸素飽和度の測定		2,747	256	687	579	4,269
心 電 図		1,532	46	134	208	1,920
そ の 他 の 応 急 処 置		2,738	253	686	577	4,254
合 計		11,809	1,003	2,577	2,291	17,680

※1 経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載

※2 喉頭鏡、鉗子等により異物除去を行った件数を内数として記載

※3 救急救命士がラリンゲアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載

※4 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数として記載

※5 心肺機能停止時、心肺機能停止前及びブドウ糖投与のための静脈路確保の成功件数

## 【救助】

### 1 救助の概要

令和7年の救助出動件数は106件(前年比22件増)、活動件数は56件(前年比21件増)となっています。

事故種別では、その他の事故が44件(前年比10件増)で全体の約41.5%を占め、次いで建物事故が34件(前年比22件増)となっています。

救助人員は60人(前年比19人増)で、建物事故31人、その他の事故14人、交通事故7人、水難事故6人、火災2人となっています。

区分		出動件数	活動件数	救助人員
救助事故種別	火 災	1	1	2
	交 通 事 故	19	6	7
	水 難 事 故	8	6	6
	自 然 災 害			
	機 械 事 故			
	建 物 事 故	34	30	31
	ガス・酸欠事故			
	破 裂 事 故			
	その他の事故	44	13	14
合 計		106	56	60

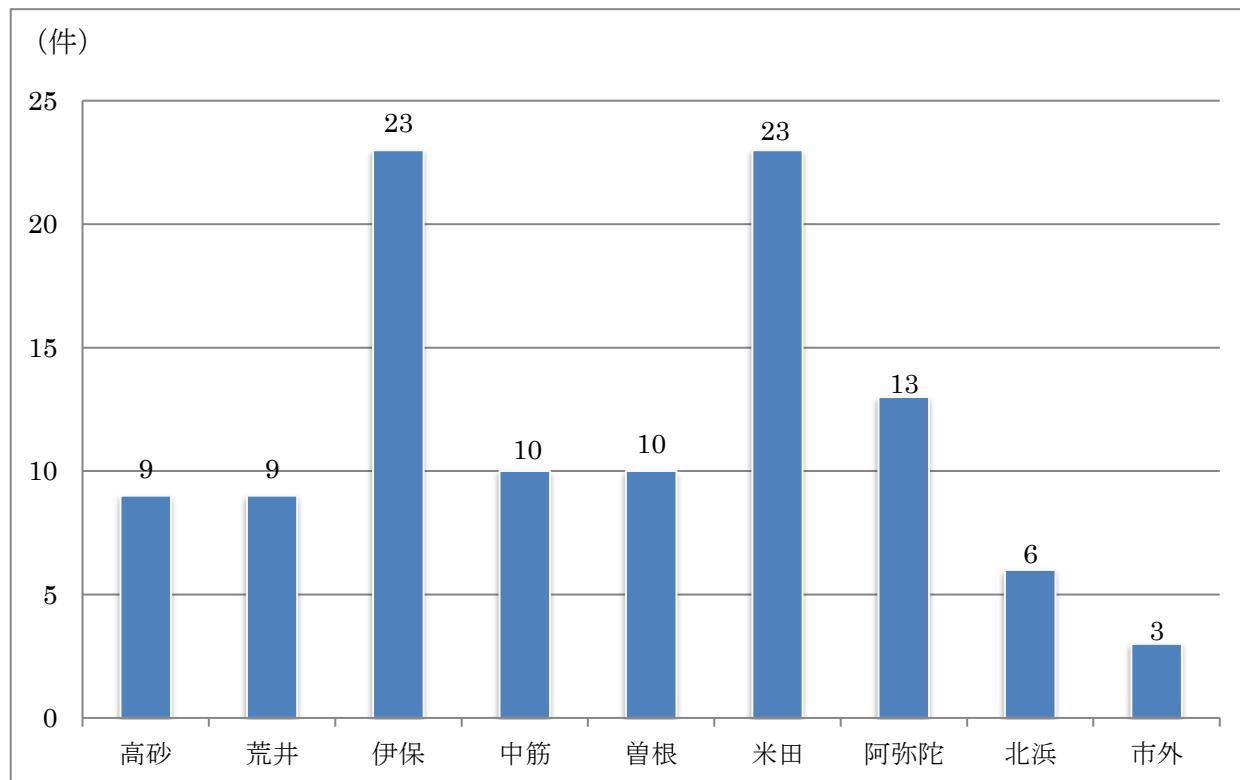
## 2 救助出動状況(前年との比較)

区分	年別	令和 6 年	令和 7 年	増減 (△は減少)
	出 動 件 数	84	106	22
	活 動 件 数	35	56	21
	救 助 人 員	41	60	19
救助事故種別	火 災	1	1	0
	交 通 事 故	24	19	△5
	水 難 事 故	7	8	1
	自 然 災 害			
	機 械 事 故	2		△2
	建 物 事 故	12	34	22
	ガス・酸欠事故	4		△4
	破 裂 事 故			
	その他の事故	34	44	10
傷病程度	死 亡	8	21	13
	重 症	4	5	1
	中 等 症	17	18	1
	軽 症	4	8	4
	そ の 他	8	8	0

### 3 月別出動件数

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
区 分														
救 助 事 故 種 別	火 災								1					1
	交 通 事 故	1	1	1	1	1	1		2	3	1	3	4	19
	水 難 事 故	1	3	1			1	1				1		8
	自 然 灾 害													
	機 械 事 故													
	建 物 事 故	1	6	2	4	2	2	2	3	2	3	4	3	34
	ガス・酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	その他の事故	3	3	4	8	3	6	6	2	4	1	3	1	44
合 計		6	13	8	13	6	10	9	8	9	5	11	8	106

### 4 地区別出動件数



## 5 救助種別及び傷病程度別出動件数

種 別		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	その 他 の 事 故	合 計
区 分											
出 動 件 数		1	19	8			34			44	106
活 動 件 数		1	6	6			30			13	56
救 助 人 員		2	7	6			31			14	60
傷 病 程 度	死 亡			4			12			5	21
	重 症		1	1			2			1	5
	中 等 症	2	3				11			2	18
	輕 症		3				1			4	8
	そ の 他			1			5			2	8

## 6 救助種別及び発生場所別出動件数

種 別		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	その 他 の 事 故	合 計
区 分											
出 動 件 数		1	19	8			34			44	106
屋 内	住 居	1					31			30	62
	その他の屋内		1				3				4
屋 外	道 路		18								18
	水 面	内 水 面		6							6
		外 水 面		2						1	3
	山 岳									5	5
	地 下										
	その他の屋外									8	8
地 下											
そ の 他											